



電子黒板での授業の様子

赤字が出たから、それをこちらから負担するということではできない。

Q 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターも視野に入れた将来的展望について。

A 市長 三次救急の体制を始めどのような形で立ち上がるのかよくわかりませんが、さんむ医療センターではできない救急医療が施せる病院が近くにできることについては歓迎をしなければならぬと思っています。しかしながら、病院は救急業務だけではないので、競合関係にも入ります。ですから、経営という面から、なおさらしっかりとしたさんむ医療センターの経営が、東金九十

九里地域医療センターが立ち上がるまでに確立されることを求めていると思います。

Q 地域全体の住民の命を守っていくという視点から、やはり各病院が役割分担と使命がある。今後、将来的に各地方自治体の首長との話し合いがしっかりとなされていくということは、市民にとって非常に安心感を与えるという意味からも重要ですがいかがでしょうか。

A 市長 要望として受けとめてまいりたいと思います。

Q 電子黒板の活用状況についてお聞きします。

A 教育部長 市内小中学校19校すべてで活用しています。

Q 先生方は、この電子黒板を使った授業をどのように評価されているのか。

A 教育部長 興味関心が非常に高くなった、理解が深まった、効果的な指導が可能になった、学習が効果的に進められた等々の声が現場の先生方から上がっている。

Q 電子黒板を使った授業を増やしてほしいとの子供たちからの要望がある。

A 教育部長 現在の試験的な状況を見ながら考えていきたい。

Q 芝生化の促進について鳥取方式の芝生化を取り入れて、各学校、幼稚園、保育所での取り組みを前向きな観点からサポートするかどうかについて。

A 教育部長 教育委員会としては、学校経営について、校長の意見を尊重して、特別なことを教育委員会としては求めません。しかし、校長がみずから芝生化を推進するとか、地域の方、保護者の方の要望があった場

合に、この提案を受け入れ、理解をして、実施するものであれば、できる限りの支援はしていきたいと考えていますが、教育委員会として、積極的にこれを推進するということはありません。

Q 崩壊した場所もある危険箇所といったところに対しての行政の対応・対策はどのようにお考えになっていますか。

A 総務部長 現実には非常に厳しい問題があります。これは財政的に、行政への信頼は大切ですけれども、市が全て対応できるものではありません。全戸に配布させていただきました防災マップや防災行政無線などからぜひ市民の方々が事前に予知して、あるいは、危険なときは避難していただくとか、そういう対応が大切とお思います。



個人質問
市川 陽子 議員

Q 予防施策について平成23年度当初予算編成において子宮がん予防ワクチンの内訳と進捗状況について。

A 市長 予防接種を促進するための基金を都道府県に設置し、緊急特別交付金を、国1/2、市1/2で2カ年に限り助成を行います。市は中学1年生、高校1年生女子まで全額公費で行います。ヒブワクチン、小児用肺炎球菌も含め、22年度補正予算に組みかえ医師会と協力体制を図りながら実施します。

Q さんむ医療センターとの連携によるセミナーの開催状況について。

A 保健福祉部長 健康支援課の事業計画で来年2月、3月頃に講演会を開く方向です。

Q 市内の就業希望者と企業による面接の開催実施状況について。

A 市長 地域に昔からあった雇用が減少している。一方、若者も職業を選び過ぎていて、地域の企業でも人材が確保されていない、アンバランスが生じている。山武市で仕事を求められる環

A 経済環境部長 新卒者の就職率が低迷していることから、山武市商工会の協力を得て、市の単独事業で2月16日に開催しました。面接会場には、サービス業2社、製造業2社、建設業1社、運送業1社、電気工事業1社の7社が参加しました。

Q 参加する企業数を増やす方法について。

A 経済環境部長 商工会の協力に加えまして、市内の工業団地を訪問致します。また、新卒者の求職活動期間に合わせ、昨年と比較して1カ月ほど早く行います。

Q 市民自治支援課にあるパソコンコーナーの活用について。

A 経済環境部長 活用方法は協議します。

Q 本市の若者が将来の展望に向かっていく環境づくりについて。

A 市長 地域に昔からあった雇用が減少している。一方、若者も職業を選び過ぎていて、地域の企業でも人材が確保されていない、アンバランスが生じている。山武市で仕事を求められる環